

明治安田損害保険株式会社

明治安田損害保険

業 種／金融・保険業
 主な事業内容／損害保険業
 従業員数／210人

カードは常時携行を義務付け
 防災カード「きすなくん」を全従業員に配布。災害発生時の初期行動や各自の緊急連絡先等が記されている



「家族との連絡手段を明記した防災カード」も全従業員に常時携行を義務付け

訓練

災害発生時には対策本部を設置。5チーム編成で、各チームごとに役割を分担

当社では、大規模地震等発生時、社長を本部長として組成される特別対策本部を30分以内に設置する。その管下に労務チーム、帰宅困難者支援チーム(右下参照)など、5チームを配置し、それぞれが安否確認や社内での宿泊場所の指定、必要な物資の支給、優先継続業務の維持・回復等に当たる態勢を整備する。

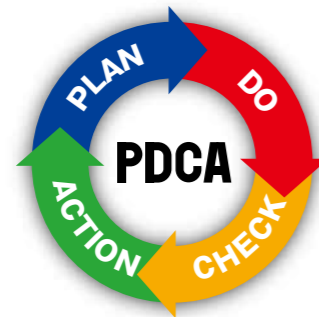


災害対策訓練。特別対策本部の様子

年に1度の訓練は、災害発生時のシミュレーションに則して実施され、実施後は、認識された課題を洗い出し、対応策を練るといった「PDCAサイクル」を進めている。また、毎年勉強会を開き、伝言ダイヤルの使用方法など、災害時に役立つ情報を全従業員が共有している。

PDCAサイクルで訓練の課題を検証

訓練後は必ず何か問題がなかったか、不足したものはないかなど、課題を出し合い対応策を協議する。これを毎年の訓練後に繰り返し行っている。



勉強会の様子。テーマは「災害用伝言ダイヤルの使用方法」について

〈災害発生時の組織編成図〉

特別対策本部

本部長：社長

労務チーム

安否確認、医療支援、宿泊者支援、帰宅者支援など、職員や来客者の安否確認や医療支援、また宿泊者、帰宅者に対する備品の提供や支援を実施

帰宅困難者支援チーム

帰宅困難者(入居テナント役職員・来客、周辺住民の避難を含む)に対して定められた範囲での対応を実施

情報システムチーム

情報システム機能および通信機能の被災状況と利用可否を確認して、その復旧に向けて必要な対策を具申し、本部の指示を受けて復旧対策を実施

BCP・応援チーム

本部の決定を受けて、優先継続業務の維持・回復に向けた対応策を立案・実施

コール対応チーム

災害発生時、契約者に対して安否確認コールを実施

最優先事項の一つとしてBCPを全社的に推進

保険金支払いも社会インフラの一つであることから、当社では、BCP(事業継続計画)への取り組みを最優先事項の一つとして、全社的に力を入れている。毎年の訓練時には、大規模災害が起きた際にどう対応するか、大阪の拠点と連携をとりながらシミュレーションを実施している。さらに、テレワークが増えている現在、職場環境を踏まえ、組織の編成や業務の進め方などの見直しを図っている。

当社の災害対策2 BCP(最優先継続業務)

1 保険金支払業務、保険契約者の資金ニーズに対応する業務	
保険金支払業務	損害サービス部
保険金請求業務	経理課
2 お客さまからの問い合わせ・相談窓口業務	
顧客からの問い合わせ	専用システム管理部(お客さま相談室)、損害サービス部、営業推進部

⇒ 本社が被災等により業務継続が困難な場合には、最優先継続業務は、大規模サービス拠点で対応

備蓄

全従業員分プラスαで3日間の社内待機が可能な備蓄品を用意

災害用備蓄品のうち、食料や飲料は各部署の人員プラスα分を部署ごとに保管。その他の寝袋、簡易ベッド、携帯トイレなどは共用の倉庫に保管。全従業員に来客者分も合わせて3日分を備蓄している。



非常用発電機は48時間稼働可能。電力供給停止と同時に自動で稼働する



折り畳み式の簡易ベッドを10台用意。これ以外に、寝袋と毛布をあわせて260名分備蓄



移動用に自転車を数台用意。ノーパンク仕様なので万が一の場合も安心



寝袋や簡易ベッド、毛布、飲料水など大きな備蓄品は共有の倉庫に保管